

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

| 開催年度 | 議題 | 地区 | 議題内容 | 所管課 | 回答概要 | 進捗状況（H25年度末現在） | 進捗状況（H26年度末現在） | 進捗状況（H27年度末現在） | 地区振興計画 | H26当初予算 | H27当初予算 | H28当初予算 | 完成分 |
|------|----|----|--|-------|---|---|--|--|--------|---------|---------|---------|-----|
| H25 | 1 | 亀山 | 耕作放棄地等の解消策について | 農業委員会 | 「人・農地プラン」の策定について、支援したい。 | 耕作放棄地等の解消策については、地域での話し合いが大切であり、地域の要望があれば「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 | 同 左 | 同 左 | | | | | |
| H25 | 1 | 亀山 | 耕作放棄地等の解消策について | 農政課 | 「人・農地プラン」の策定について、支援したい。 休耕田の害虫に対する助成等については、制度を設けていない。今後、研究したい。 | 耕作放棄地等の解消策については、地域での話し合いが大切であり、地域の要望があれば「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 | 現在市内24地区にて人・農地プランを作成したところであり、今後、耕作放棄地の解消等に、同プランを活かしていきたい。 | 耕作放棄地の解消策として、平成27年度から農地中間管理事業の活用による解消に努めている。この事業を活用するには「人・農地プラン」の策定が必要であり、今後、「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 | | | | | |
| H25 | 1 | 亀山 | 耕作放棄地等の解消策について | 環境課 | 空き家等の消毒等に対する助成等については、制度を設けていない。今後、研究したい。 | 現在、環境課では快適環境づくり補助金を使って花いっぱいを進めています。耕作放棄地の土地管理者の承諾をもらい、補助金を活用し、地域で花いっばいに取組んでいただきたい。 | 現在、環境課では快適環境づくり補助金を使って花いっばいのまちづくりを進めている。耕作放棄地の土地管理者の承諾をもらい、補助金を活用し、地域で花いっばいに取組んでいただきたい。 | 同 左 | | ○ | ○ | | |
| H25 | 2 | 亀山 | 宮内藤市営住宅の跡地の利用について | 建築住宅課 | 跡地を市道が2分しているため、グラウンドゴルフ場への整備は厳しい。 公募による売却等も検討している。当分、イベント・行事等の際には、地元の駐車場として利用していただくようにしている。 | 売却可能な土地であるので売却の検討を継続中であるが、地区行事等の駐車場として利用していただくようにしている。 | 売却可能な土地であるので売却の検討を継続中であるが、地区行事等の駐車場として利用していただくようにしている。 | 売却も可能として、普通財産へ変更した。 | | ○ | | | ○ |
| H25 | 3 | 可愛 | 川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について | 都市計画課 | 大小路地区の薩摩川内市街部改修事業については、本市が行っている都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めている。 今後も河川事務所と連携しながら、積極的に事業推進を進めたい。河川事務所からは早ければ平成26年度中には工事に着手したいということを知っている。 | 大小路地区の薩摩川内市街部改修事業については、本市の都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めており平成26年2月末で事業用地取得の6割程度が契約済みの状況である。 今後も河川事務所と連携しながら、積極的に事業推進を進めたい。 また、平成26年度は、一部区間の工事着手に向けて関係機関との事務を進めている。 | 大小路地区の川内市街部改修事業については、本市の都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めており平成27年3月末で事業用地取得の7割程度が契約済みの状況である。また、平成26年度は、道路築造が延長240mの区間で完了している。 今後も河川事務所と連携しながら関係機関と連絡調整を行い、積極的に事業推進を図りたい。 | ・大小路地区の川内市街部改修事業については、本市の都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めており、平成28年3月末で事業用地取得の9割程度が契約済みの状況である。また、平成27年度は、道路築造が延長380mの区間で完了している。 ・今後も河川事務所と連携しながら関係機関と連絡調整を行い、積極的に事業推進を図りたい。 | | ○ | ○ | ○ | |
| H25 | 3 | 可愛 | 川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について（川内川護岸公園等の設置） | 建設政策課 | 向田地区の堤防を改修していただく際、川まちづくり推進協議会というものを組織した。これは事業主体である河川事務所（国）、市、地元の皆様と一緒に、様々な意見を交えながら、国・市に要望したり、できることは自分で実施したりすることにより進める。 従って、地元の意見が入り易いと考え、向田地区のこの組織を参考に、良い部分はそのまま継承するが、不具合な部分は改善しながら新たな組織をつくりたい。できれば、早い時期に組織立ち上げの作業に入りたいと考える。 | 現在、地元のコミ協、自治会と話を進め、計画を検討するメンバーを募っている。今後、地元の意向を伺いながら国と協力し詳細な計画を策定していきたい。 | 現在、可愛地区の自治会長を中心に「せんで川夢見る会」を立ち上げ、河川空間の整備について要望書の取りまとめを行ったところである。今後は要望書を基に維持管理手法も考慮しながら、具体的整備計画を策定する予定である。 | 平成27年度は可愛地区の自治会長を中心とした「せんで川夢見る会」を3回実施し、河川空間の整備計画に反映するメニューを決定した。今後は活用団体等をメンバーとした検討会を開催し、将来的な維持管理も含めた具体的整備計画を国と協議しながら策定する予定である。 | | | | | |
| H25 | 3 | 可愛 | 川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について | 建設維持課 | 平成18年の水害を受け、本市は内水対策中長期ビジョンを作成している。ビジョンと河川計画を併せながら、一番良い方法での水対策を考えたい。ただし、当分の間は、これまでどおり、導水路に溜まった土砂を除去したり、側溝の改修、雨がひどい場合は、新たに臨時ポンプをもって来る等したい。水門管理人さんや排水機場管理人さんと対応をさせていただきたい。 | 内水対策中長期ビジョンの策定を行った。今後は、中長期ビジョンに基づく排水対策を順次行っていく予定である。 | 内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策の設計業務委託を発注し、一部工事の発注を行った。 | 引き続き、内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策を順次行っていく予定である。 | | | | | ○ |
| H25 | 4 | 可愛 | 国道3号御陵下地区無電柱化事業の促進について | 都市計画課 | 本事業については、太平橋から国道267号入口までは、既に完了している。267号入口から風口交差点までは、平成26年度までは、完成する予定である。 風口交差点から高槻橋までについて第3期工事として、地元の促進協議会ができており、関係課等で、国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社等へ要望に出向いている。今後も要望を続けてまいりたい。 | 本事業については、平成23年度から、国道267号入口交差点から風口交差点までの780m区間については、事業着手しており、平成26年度で、事業が完了する予定である。 なお、風口交差点から高槻橋までの970m区間についても事業登載要望路線として、地元の促進協議会と一緒に、国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社等へ要望を行っており、引き続き要望を続けてまいりたい。 | 本事業は、国道267号入口交差点から風口交差点までの780m区間について、一部事業予算を翌年度へ繰越したものの平成27年度内には事業が完了予定である。 今後は、風口交差点から高槻橋までの970m区間を事業登載要望路線として、地元の促進協議会と共に、国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社等へ引き続き要望を行いたい。 | 平成27年度に国道267号入口交差点から風口交差点までの780m区間について、歩道拡幅については完了したものの、植栽及び舗装が一部未整備となっている。今後は、未整備区間の早期完成と風口交差点から高槻橋までの970m区間を事業登載要望路線として、地元の促進協議会と共に国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社及びNTTへ引き続き要望を行いたい。 | | ○ | ○ | ○ | |
| H25 | 5 | 育英 | 中郷地区における内水排除対策について（豪雨により中郷川が氾濫し、道路や敷地の冠水が予想されると判断された時点で、排水ポンプ車を山田島排水機場に配置していただきたい。） | 建設維持課 | 現在、川内川の河川事務所が持っている排水ポンプ車が2基あり、1基は栗野等の上流に、もう1基が天辰出張所の三堂に配備されている。 他の県外の事務所にも、排水ポンプ車が配備されている。状況によっては、他の事務所からの配備も可能であると聞いているので、台風等の気象予報を早めに把握し、連携がとれるようにしていきたいと考えている。 | 河川事務所へ排水ポンプ車の配備について要望を行った。 | 台風の襲来に併せて、排水ポンプ車の配備を河川事務所に要請し、山田島排水ポンプ施設横に配備していただいた。 | | | | | | ○ |
| H25 | 5 | 育英 | 中郷地区における内水排除対策について（消防庁舎の敷地及びその周辺の銀杏木川の狭窄部の拡幅については、現消防防庁舎の移転後早急に実施していただきたい。） | 建設政策課 | 県河川である銀杏木川の拡幅については、現在、コアガス付近を拡げており、おれんじ鉄道附近までは、今年度までに進むと聞いている。 | 銀杏木川については、肥薩おれんじ鉄道の手前まで完了した。 | | | | | | | ○ |
| H25 | 5 | 育英 | 中郷地区における内水排除対策について（平成21年度及び平成23年度のまちづくり懇話会における答弁では「内水対策実施までの間、中郷池の調整機能を活用することも考えており、地元土地改良区等と協議を行う予定である」となっているが、未解決であるので早急に対策をしていただきたい。） | 建設維持課 | 来年の雨季までには、どの程度まで水位を下げられるか等、耕作者の方とも話をしながら、対応したいと考えている。 | 地元土地改良区と協議を行い、雨期と台風前には上池及び下池の水位を半分程度まで下げること了解をいただいた。 また、26年度は上池の水位調整ができるよう改修を行う予定である。 | 中郷上池の斜樋設置工事の設計業務委託を実施し、工事発注を行った。 | 地元土地改良区と中郷上池・中郷下池の管理につき覚書を締結し、内水対策に必要な中郷上池・中郷下池の適正な管理を行うこととした。 | | ○ | | | ○ |

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

| 開催年度 | 議題 | 地区 | 議題内容 | 所管課 | 回答概要 | 進捗状況（H25年度末現在） | 進捗状況（H26年度末現在） | 進捗状況（H27年度末現在） | 地区振興計画 | H26当初予算 | H27当初予算 | H28当初予算 | 完成分 |
|------|----|----|---|---------|--|--|--|---|--------|---------|---------|---------|-----|
| H25 | 5 | 育英 | 中郷地区における内水排除対策について | 防災安全課 | 早目の避難をしていただくための対策として、これまでどおり、川内川水位の基準に基づき、避難準備情報、避難勧告、避難指示を行う。中郷川においては、山田島橋門が閉鎖されたときは、その旨を皆様方へお知らせをして、避難準備にあたってもらえるよう対策をとりたいと考えている。 | これまでどおり、川内川水位の基準に基づき、避難準備情報、避難勧告、避難指示を行う。中郷川においてはの情報は、皆様方へお知らせをして、早期に避難準備していただけるよう対策をとる。 | これまでどおり、川内川水位の基準に基づき、避難準備情報、避難勧告、避難指示を行う。中郷川においてはの情報は、皆様方へお知らせをして、早期に避難準備していただけるよう対策をとる。 | 同 左 | | | | | |
| H27 | 1 | 亀山 | 避難所について | 防災安全課 | 亀山地区では、10箇所の風水害の指定避難所を指定。亀山地区コミュニティセンターは川内川が氾濫した際に、浸水が想定される場所であること等により、風水害の指定避難所に指定しなかった。水害以外、例えば、台風や地震災害時の避難所ということでは、使用可能であると考えられるので、検討したい。 御指摘のとおり、亀山地区には7千人を超える方が住んでおられる。例えば、水害時には、避難所が不足するのであれば、隣接の地区の避難所へ誘導をしながら、万全を期したい。 なお、市では自治会避難所の指定も行っている。今のところ、川内地域で25箇所を指定している。自治会においては、是非、御検討をお願いしたい。 | | | 亀山地区の水害対策として、平成27年9月に市と榑植村組が協定を締結し、榑植組川内支店を協定避難所と位置づけ、災害発生時、又は発生するおそれがある場合において、避難者の受入を行うこととなっている。 なお平成27年度において自治会避難所について以降調査を行ったが、希望される自治会がなかった。引き続き、検討いただきたい。 | | | | | |
| H27 | 2 | 可愛 | 可愛地区コミュニティセンターの老朽化について | コミュニティ課 | 可愛地区コミュニティセンターの修繕等の経過状況、薩摩川内市全体の財政状況と公共施設の考え方を説明。 残念ながら、現時点において、センターを新たに建設するという計画は無い。48地区のコミュニティセンターの現況（施設の老朽化等）を逐次確認しながら、毎年、必要な予算を措置し、改修したい。可愛地区コミュニティセンターは少し高いところにあり、高齢者の方々に不自由をおかけすることを十分に承知している。可愛地区内の他の公共施設も有効に活用しながら、現在のコミュニティセンターを当面、御利用いただくようお願いしたい。 | | | 屋上の防水工事を行なった。 28年度に可愛地区コメセンの耐震診断業務を行なう。 | | | | ○ | ○ |
| H27 | 3 | 育英 | 安全・安心なまちづくり (以前から懸案となっている内水対策の実施である。特に梅雨・台風時期に上池・下池から中郷川や銀杏木川へ流れ込むことで発生する内水対策を長期的に検討・実施してほしい。) | 建設維持課 | 平成18年度北部豪雨災害の際、中郷川が溢れ、道路まで冠水した。内水対策の整備計画に基づき、昨年度から実施している。 育英小学校周辺に大きな排水路を設け、若干余裕のある中郷病院にある中郷ポンプ場から汲み出せるようにした。そこに2系統を予定しているが、間もなく、1系統が終了する。もう1系統を接続すると排水が山田島へ行かなくなるので、その分は解消されると思う。 中郷池には、上池と下池がある。下池には水位を自由に調整できるゲートがあるが、上池には無かったので、今年、上池にも設置した。もう少しで終了する。 中郷川については、昨年・今年も寄州の除去も実施し、水の流れを確保している。 今後もこのような整備計画に基づき、予算の範囲で年次的に整備を進めたい。現在も台風前になると、国土交通省河川事務所の御配慮により、移動式の排水ポンプ車を事前に設置していただいている。今まで、中郷地区におかれては大変な思いをされておられるので、今後も整備を進めたい。 | | | 地元土地改良区と中郷上池・中郷下池の管理につき覚書を締結し、内水対策に必要な中郷上池・中郷下池の適正な管理を行うこととした。 | | | | ○ | ○ |
| H27 | 他 | | ごみの分別が徹底されない。地区外の方のごみが未回収である場合もある。 | 環境課 | 転入の際に、ごみの分別のあり方等も説明している。それも1回限りであるので、徹底することは難しい。周知も含め、今後、検討させていただきたい。 | | | ごみの出し方については、随時指導しており、今後も随時行っていく。 | | | | | ○ |